

## 令和元(2019)年度卓越大学院プログラム審査結果

機関名	京都大学		
プログラム名称	メディカルイノベーション大学院プログラム		
プログラム責任者	岩井 一宏	プログラムコーディネーター	渡邊 大

### [採択理由]

本プログラムは、我が国の医療・ヘルスケア領域におけるイノベーションを加速し世界へ発信・展開するために、最先端の研究開発と社会実装を担う卓越人材の育成システムを戦略的に構築することが課題と捉え、日本を代表する数々の研究成果を上げてきた医学・薬学・保健学分野の研究者が協力して、MD及びnon-MD (non-Medical Doctor) の学生を対象とした精緻で堅牢な教育研究システムを構築しようとするものである。医学研究科、薬学研究科、iPS細胞研究所の医薬学域3部局と世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)「ヒト生物学高等研究拠点(ASHBi)」が連携しており、ノーベル賞をはじめ国際的に高い評価を受ける研究者を輩出する世界トップレベルの研究を推進してきた京都大学の強みを生かしている点は評価できる。

特に、「コア履修科目群」として社会人と留学生を含むnon-MD学生の系統的な医学理解を目的とする「コア医学教育コース」を整備し、提供することにより、多様な人材を医学研究やその社会実装に導くことは、新たな学問的ブレークスルーやイノベーションを促進することになると大いに期待される。

また、多くの企業や海外研究機関の協力を得ていること、グローバルCOEプログラムや21世紀COEプログラム、博士課程教育リーディングプログラム、WPIをはじめとした大型プロジェクトの経験や成果を活用すること、さらに、製薬企業4社との連携による「創薬医学講座」という産学連携教育の基盤も確立していることを考慮すると、本プログラムの実現可能性は高いものと評価できる。

本プログラムがよりグローバルな視点を持ったメディカルイノベーターを輩出するために、海外大学・研究機関等だけでなく海外企業との連携も視野に入れた取組が望まれる。京都大学のこれまでの実績を含めた大学の特色・強みを生かしながら、特定の分野・領域に閉じることなく、従来にない斬新な教育プログラムが構築されることを期待する。